

高校教職員のための

発生生物学実践講座

2016年10月2日

理化学研究所CDB

触
れ
て
感
じ
て
伝
え
る
講
座



高校教職員のための発生生物学実践講座2016

(理化学研究所多細胞システム形成研究センター・日本発生生物学会・兵庫県高等学校教育研究会生物部会)

高校の教職員が生き生きと生物の不思議を語り得ることは、将来の生命科学の発展、さらにはわが国における科学学術文化の継承と発展に不可欠です。

そこで、理化学研究所多細胞システム形成研究センター（理研CDB）と日本発生生物学会（JSDB）、兵庫県高等学校教育研究会生物部会は、高校における生物学教育の一層の充実を支援するため、生物教職員の皆さまを対象とした1日講座「高校教職員のための発生生物学実践講座」を開催いたします。ぜひご参加ください！

【概要】

日時：2016年10月2日（日） 9:30～17:30（予定）

会場：理化学研究所 多細胞システム形成研究センター
神戸市中央区港島南町2-2-3
（神戸ポートアイランド内、医療センター駅すぐ）

参加費：無料

※ただし、主催者による交通費・宿泊費等の支給はありません。

【プログラム】

ショウジョウバエは生物学研究に用いられる主要なモデル生物のひとつで、発生学および遺伝学分野の発展に大きく貢献してきました。

そこで、本講座では、ショウジョウバエを用いた実験を体験していただくとともに、最先端の研究現場で展開されている研究内容や手法をレクチャーを通してご紹介します。教科書に掲載されている内容がどのように発展し、最先端の研究内容へと結びついているのかをぜひ体感してください。

また、本講座では新たな試みとして、アクティブラーニングの手法を取り入れ、各校での実践・教材化を意識したグループワークやディスカッションに取り組んでいただきます。

午前

- ・研究者レクチャー：「ショウジョウバエ研究の最前線」
- ・実習：ショウジョウバエの基本操作、観察

午後

- ・実習：「生まれと育ち、どちらが大事？」
～遺伝子と環境因子が形質発現に与える影響～

<実習テーマ>

- 1) 白眼遺伝子：伴性遺伝の観察
- 2) 斑眼遺伝子：エピジェネティクスによる形態発現の観察

※ アクティブラーニングの1つである「ジグソー」という手法を用いて、実習および考察を進めます。グループワークを通して、2つのテーマについて理解を深めていただきます。

<監修・講師>

林 茂生（理研CDB形態形成シグナル研究チーム チームリーダー・日本発生生物学会 運営委員）

【後援】

兵庫県教育委員会 神戸市教育委員会 大阪市教育委員会
京都府教育委員会 京都市教育委員会（予定）

【お申込み方法】

<応募資格>

高等学校等の生物学担当教職員で終日参加できる方

<募集期間>

9月10日（土）～9月25日（日）

※応募者多数の場合は抽選となります。

※抽選結果は登録したEメールアドレス宛てに9月26日（遅くとも9月27日）までに、メールにてお知らせいたします。

<お申し込み方法>

参加をご希望の方は、下記Webサイトの「お申し込みフォーム」にてご応募ください。

【その他】

- ・本講座は兵庫、京都、大阪の各府県教育委員会より後援を受けていますが、他地域からのご参加も歓迎いたします。
- ・プログラム内容は変更する場合があります。予めご了承ください。
- ・最新の情報はWebサイトにてご確認ください。
<http://www.cdb.riken.jp/recurrent/2016/>

【お問い合わせ】

理化学研究所 多細胞システム形成研究センター（CDB）
研究推進室 高校教員研修係
TEL：078-306-3310
Email：cdb-pr@cdb.riken.jp



CHECK! →

教材化を実践！

「高校生のための発生生物学実習講座」企画運営委員募集！

本講座の実践編として、「高校生のための発生生物学実習講座」を12月末に開催します。

本講座に参加された方のうち、兵庫県高等学校教育研究会生物部会会員の方の中から、12月の講座の企画運営を一緒に進めていただく「企画運営委員」を募集いたします。

詳しくはWebサイトをご参照ください。

